

# 令和2年度 いなべ在宅医療・介護連携研究会を開催しました

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、いろいろな事業が中止となりました。しかし、せっかくここまで進んだ在宅医療・介護連携推進事業を止めてしまってはと、研究会として初挑戦となります Web を活用した研究会を開催しました。

内容は、いなべ地域での MCS(メディカルケアステーション)の普及や利用促進を目的に、MCS の登録者に実施したアンケート調査の結果報告や MCS 活用の好事例の紹介、Web での意見交換会を行いました。



日時:令和3年2月25日(木) 19:00~20:30

開催方法:Webex によるオンライン研究会

内容:テーマ『実践例から学ぶ、現場で使える医療と介護の連携 Part8』

(1)いなべ地域の MCS(メディカルケアステーション)の利用状況について

(2)MCS 活用の好事例についての紹介

(3)意見交換会(グループワーク)

## グループワーク の意見

機械が不得意なのでできるか心配

CM 発信のグループができ始めているのは今後が楽しみ。

自分からグループ立ち上げようと思っていたが関係する職種が集まらなかったため断念した。

状態を書き込めて良い。返信が早く、すぐに確認が取れる。

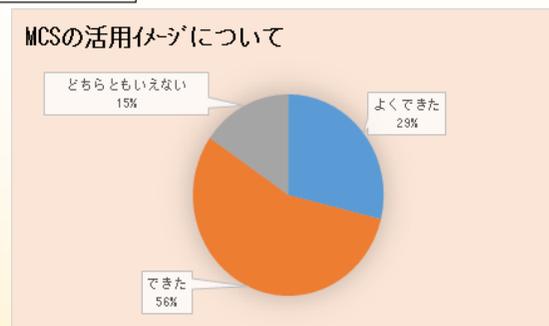
立ち上げを誰がするのか？手間がかかる。立ち上げた人が同意をとる必要があり。いつ立ち上げるのか。ルール化して欲しい。



MCSの必要性を感じた。情報がない中で訪問に行っていた。ツールがあって本当に便利になった。

## アンケート報告

### MCS の活用イメージ



・情報交換はもちろんのこと、写真や書面もかわせることで、情報が早く伝わり行動が起こせる事が実感できました。  
・これまで連絡を受けることが多かったのも、また機会を見て自分でもグループを作ったり発信したりしてみたいと思います。

### 研究会のご意見・ご要望

・Webでのグループワークへの不安もありましたが、とても参加しやすかったです。今後もこの方法でいいと思います。  
・リモートで研究会をすることについて、すでに知った顔、お人柄もわかっている関係だからうまくいくと感じました。関係ができていないうえでのリモート、リモートありきにならないようにしていくことが大切かと感じました。